

観光を支える方々の声を寄稿、インタビューを基にお届けします

声 VOICE

これからの旅館・ホテル、観光産業

「ヒューマニティ」人間性尊重精神へのシフトを

日本ホテルレストラン経営研究所 理事長

大谷 晃 氏



私事ではございますが、令和3年、秋の叙勲に際し、ましてはからずも瑞宝章光章受章の栄に浴しました。これもひとえに皆さまの長年にわたる温かいご指導ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。今後は、この栄誉に恥じることなく、一層精進し、いささかなりともご芳報にたいと存じますので何卒旧のご厚誼ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

教育活動が大原則

全国修学旅行研究協会 理事長

岩瀬 正司 氏



コロナ禍に振り回された修学旅行。しかし、見えてきたものが三つあります。まず1点目は、文部科学省から「修学旅行は意義ある教育活動であるから実施の方向で努力を」という異例ともいえる通知が関係方面へ再三にわたって発信されたこと。これは、修学旅行の重要性と教育的意義が再認識されたことによりです。

充実した修学旅行を

修学旅行体験者である保護者の意向が、現在では修学旅行実施に向けての大きな応援団になっています。3点目、それは、修学旅行は運動会や文化祭をこえて、異なり、学校単位で決まらず、特別かつ総合的な学校行事「授業」教育活動であること。旅行会社、交通機関、宿泊・食事・見学・体験等々、さまざま施設や組織、そしてそれに携わる多くの人の支えによって成立している修学旅行は、経済活動の側面を持つ教育活動であり、その活動は日本社会に確固たる地位を築いていることが改めて確認されました。

地域発展の源は「旅行」にあり

三つの視点で「地域共創」を実現

クラブツーリズム 地域共創事業部 部長

樋山 智彦 氏



旅行会社が「旅行」を創らなくなった。旅行業に携わる一人として、このことに危機感を募らせている。募集企画旅行において市場ニーズと適正性を追求した結果、ダイナミックパッケージに傾注されるを得ない実態があり、「旅行」の根幹である「旅のプロデュース」が希薄になっていく現状は否めない。

ネットカフェと温泉地

日仏温泉・タラソテラピー・文化振興会 SPALOHAS 倶楽部 代表理事

ジュアンド ヤスコ 氏



半世紀ほど前、日本政府は急激な少子高齢化や健康保険の赤字増加を予測し、豊かな温泉や海を予防医学と地方経済活性化に活用するために、多くの専門家を健康保険が適用される欧州の温泉やタラソテラピーの視察へ送り出した。

日本に息づく温泉DNA

ここでないと思いがちですが、だきました。温泉は黙って温泉の多面性を過小評価せず、社会的有効活用を視野に次世代へつなげることを防犯原則(食事・運動・リラクゼーション)で構える。例えばフランスで温泉は「住む人も来る人も健康」に目指しました。科学的な温泉療法を真正し、温泉地でも具現化し、温泉と経済効果を常時発信し、4月以降は温泉は見向きもされずに任意団体として運営をまかせ、軽度のうつ病の温泉療法の功を奏しています。

観光DXの大衆化

地域とともに推進

リクルート ジャらんリサーチセンター エグゼクティブプロデューサー兼 研究員

木島 達也 氏



新型コロナウイルス感染症の拡大により、観光業は厳しい状況にあるが、地域の観光業では、非接触への対応や業務効率化のためのDX化が進められている。リクルートもさまざまな業務支援ツールを展開してきたが、もう一段、進化させよう。地域資源分析プラットフォームの実証実験を始めた。この取り組みでは、将来的な地域観光消費額の増加を実現したいと考えている。

ウィズコロナ時代の教育旅行の造成

「コンパクトシティ・富山」地域一体で、修旅誘致へ

富山支店 係長

永田 敏宏 氏



富山市は、誰もが住みやすく将来にわたって持続可能な都市を目指し、公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを推進している。富山支店では、このまちづくりを軸として、市内に点在する観光資源を連携し、観光誘致に取り組んでいる。

富山市は、誰もが住みやすく将来にわたって持続可能な都市を目指し、公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを推進している。富山支店では、このまちづくりを軸として、市内に点在する観光資源を連携し、観光誘致に取り組んでいる。また、観光誘致とSDGsの連携性を学習できるコンテンツを用意している。今後は修学旅行生向けガイドブックや、教育旅行受け入れに向けて統一した説明が全国で取組まれている。また、今年度は比較的にコロナ感染者数が少ない北陸方面に変更する学校が多数あり、富山市を訪れる学校数も増加している。